

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	株式会社いずみエコロジーファームハートランド事業部
住 所	和泉市テクノステージ2-1-10
電話番号	0725-99-8057

事業所番号	2710500881
管理者名	渡辺 治
対象年度	2022年度

地域連携活動の概要

<活動内容>		<活動の様子>	
活動場所 実施日程 実施した生産活動・施設外就労の概要		活動の様子の写真 成果物の写真 活動内容の追加コメント	
大阪いずみ市民生協テクノステージ施設内 2022年4月1日～2023年3月31日 いずみ市民生協・テクノステージ施設内に於いて、食品残渣の堆肥化作業に従事する。5日/週、利用者1～2名+スタッフ1名で作業を請け負う。堆肥化装置を使用し、1500kg/日の食品残渣を堆肥化装置に投入する。力のいる作業であるが、作業に慣れれば毎日の投入量をコントロールするだけで作業は完結する。ただし、機械の不具合対応や良質の堆肥を作る為には、毎日の投入量の調整が不可欠。今年度からは専任スタッフ着任。異物混入等の為、機械修理に時間がかかったが、委託先・機械メーカーとの調整を行い無事に作業を進める事ができた。			
<目的>		専用の機械を使用して、コンベアに食品残渣を投入する利用者とスタッフ	
地域連携活動のねらい 地域にとってのメリット 対象者にとってのメリット		青色のコンテナを1日平均12～13台こなします。	
作業自体は複雑な作業でもなく、慣れれば利用者とスタッフでこなせる作業である為、利用者の作業としては最適である。また企業側の意向に沿った作業である為、連携をはかる事ができる。企業にとっては、自社の食品リサイクル率アップにつながる。 普段の作業とは違う作業なので、新鮮感が味わえる。また一般就労に向けての実習にもなる。一定の緊張感を持つことができる。毎日の単純作業である為、反復訓練になる。 細かな配慮は不要な為安全性を確保できれば、重度障がいの方でも作業をこなすことが可能（障がい特性に合わせて従事する）			
<成果>			
実施した結果		年間で約400トンの食品残渣を処理する	
得られた成果		受託料は毎月定額で受け取る事ができるので、経営的にも安定する	
課題点		生産する堆肥品質の管理が難しく日々の機械管理が大変である。機械のメンテナンス作業に関しては委託業者と連携をはかりながら進めている。	

連携先の企業等の意見または評価

連携した結果に対する意見または評価 今後の連携強化に向けた課題			
食品残渣の堆肥化作業を委託するが、トラブル発生時にも受託側で対応を行ってくれるため大きく評価している。なお、企業側の食品リサイクル率のアップにも貢献している。 今年度は異物混入により機械にダメージを与える事象が発生している。仕分け方法に変更を行い、混入した異物を仕分けの時点で発見できるようにお願いします。			
連携先企業名	大阪いずみ市民生活協同組合	担当者名	人事総務部 佐々木様